

2023 年 3 月 7 日

阪神電気鉄道株式会社
阪急阪神不動産株式会社

新たな高架下空間 東灘高架下 深江駅 1 階に新店舗が 3 月 18 日オープン

～東灘高架下（阪神本線魚崎駅・芦屋駅間）の活用を進めてまいります～

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：秦雅夫）と阪急阪神不動産株式会社（本社：大阪市北区、社長：諸富隆一）では、この度、阪神本線住吉・芦屋間連続立体交差事業によって新たに誕生した、阪神本線魚崎駅・芦屋駅間の東西約 3.5 km にわたる高架下空間（東灘高架下）の活用に当たり、東灘高架下に位置する深江駅の 1 階において、ドラッグストア「ココカラファイン阪神深江駅店」を 3 月 18 日（土）にオープンいたしますので、お知らせいたします。

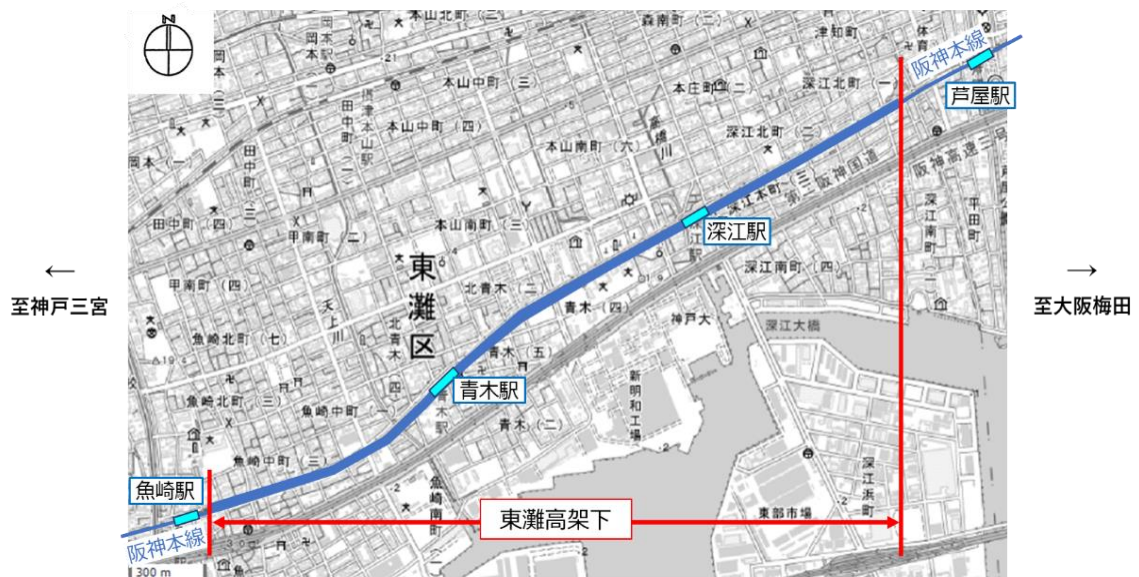
また、今後、東灘高架下の活用を順次進めるに当たり、この空間をイメージしたロゴマークを策定しました。高架下の特徴である細長く連続する空間に、つながりやデザインの統一感を持たせるためのツールの一つとして用い、施設のポイントとなる場所や案内サイン等、東灘高架下の様々な場面で本ロゴマークを展開します。これにより、一連の高架下施設の認知度を高め、親しみを持っていただき、地域の魅力向上につなげてまいります。この度の深江駅 1 階新店舗においては、出入口脇 1 か所に設置いたします。

【東灘高架下ロゴマーク】



東灘高架下を構成する 4 つの駅（魚崎、青木、深江、芦屋）が高架でつながり、その内、中央 2 つの青木駅・深江駅とその前後は高架となって上に上がったこと、そして東灘高架下が位置する神戸の特徴である山や海をイメージしました。

【東灘高架下位置図】



※国土地理院発行の地理院地図（電子国土 Web）を使用

阪神電気鉄道及び阪急阪神不動産では、駅をご利用のお客さまや周辺にお住まいの皆さまに便利で快適な生活を送っていただけるよう、魅力あふれる沿線を創造してまいります。また、今回の深江駅の新店舗をはじめとした東灘高架下の活用においては、環境に配慮した快適にご利用いただきやすい高架下空間を目指してまいります。

【深江駅 1 階店舗概要】

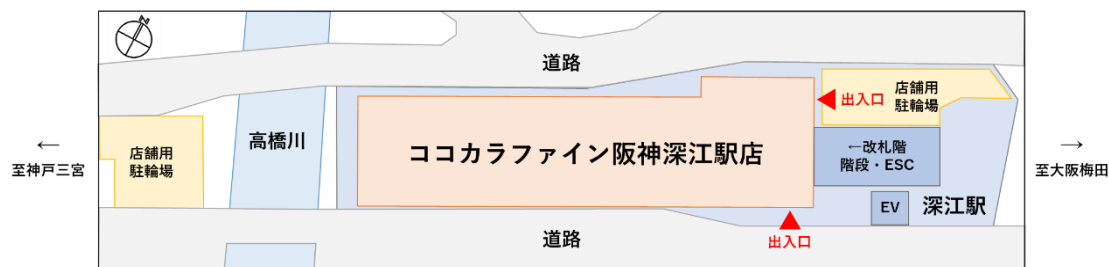
1. 店舗概要

- (1) 名 称：ココカラファイン阪神深江駅店
- (2) 所 在 地：兵庫県神戸市東灘区深江北町 4 丁目 1 番 8 号
- (3) 延 床 面 積：約 700 m²
- (4) 構造・規模：鉄骨造・平屋建て
- (5) 着 工 年 月：2022 年 9 月
- (6) 竣 工 年 月：2023 年 2 月

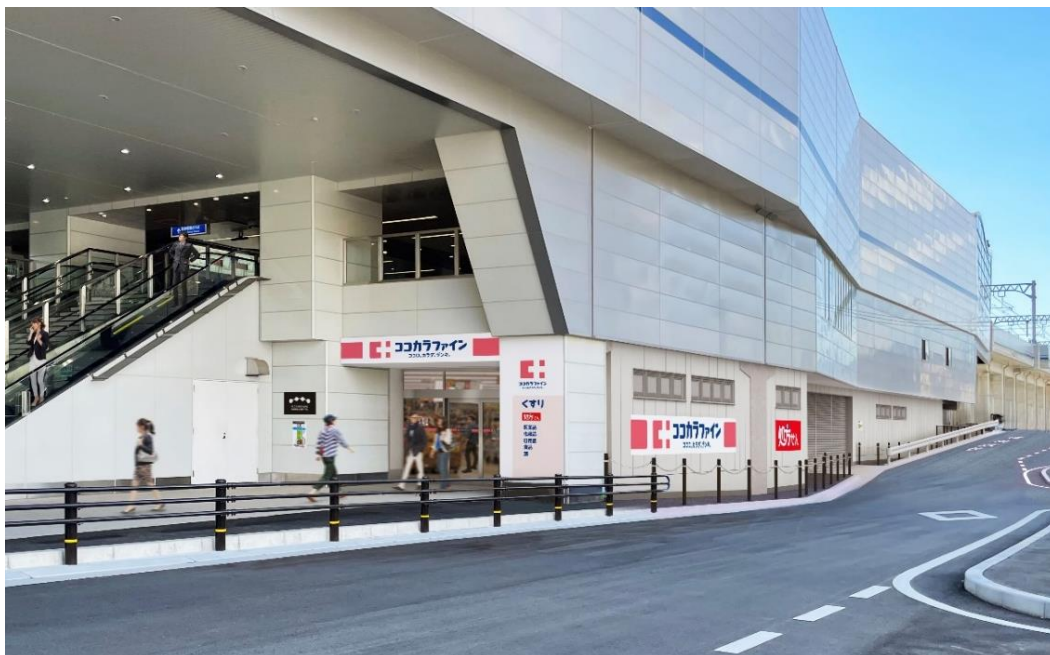
2. 「ココカラファイン阪神深江駅店」の概要

- (1) 営 業 品 目：医薬品・化粧品・日用品・食料品等
- (2) 営 業 時 間：9：00～22：00（予定）
- (3) 定 休 日：無休（予定）

3. 店舗配置図



4. イメージパース



【参考：阪神本線住吉・芦屋間連続立体交差事業のあらまし】

1. 概要

阪神本線住吉・芦屋間連続立体交差事業は、阪神本線の住吉駅から芦屋市境までの約 4 k m の区間を連続的に高架化し、交差道路や側道の整備を行い、踏切の解消と都市環境の改善を図るため、都市計画事業として進められているものです。

- (1) 事業区間：住吉駅東方～芦屋市境 約 4.0 k m
- (2) 高架になる駅：2 駅（青木駅・深江駅）
- (3) 除却する踏切：11 か所
- (4) 整備する道路：交差道路 33 路線（魚崎幹線、青木幹線、深江幹線など）
側道 3 路線（阪神沿北側線など）
- (5) 事業期間：1992 年 3 月 ～ 2026 年 3 月（予定）

2. 事業の経過

1983 年 9 月	都市計画決定
1992 年 3 月	都市計画事業認可
2005 年 8 月	住吉駅～魚崎駅間の工事完了
2006 年 11 月	魚崎駅～芦屋市境工事着手
2009 年 4 月	仮上り線路切替え
2010 年 10 月	仮下り線路切替え
2015 年 12 月	下り線高架切替え
2019 年 11 月	上り線高架切替え

以上